



蒼天の翼



Program

◆特集「千仰祭」で関わりを深める

- ・初めての餅つき
- ・千厩ロータリークラブ
- ・母親委員会

◆健全育成委員会

- ・挨拶運動

◆生徒の活動から

- ・大会結果報告
- ・産業技術科より
- ・進路状況(進路課長)

◆研修委員会

- ・福島方面研修旅行



Produced by

P T A 調査広報委員会

「蒼天の翼」題字 千葉明美(3B)

「千仰祭」の当日は風の強い日でしたが、学校の田んぼで育てたPTAの餅米で餅つきを行い、来場者に「ふるまい餅」をしました。初めての試みに、多くの方々から協力をいただきました。

特集 千厩祭

喜

春に植えた苗が餅に

千厩高校生産技術科で管理している田んぼに、PTAで餅米の苗を植えたのは、「ふるまい餅」で祭りを元気にしたいという願いからです。

いつも、母親委員会の皆さんに「がんばり」を中心とした取り組みを行っていただいておりますが、「親父たちも何かすつべ」ということでスタートしました。



田植え

やったこともない手植え。農業クラブ主催の校内田植え大会にPTAチームも参加しました。結果は8チーム中、4位と大健闘。さらに参加賞として生産技術科の皆さんが育てたカーネーションの鉢花をいただき、ありがとうございます。

稲刈り

その後の田んぼの管理は、生産技術科の皆さんにやっていただきました。暑い夏が過ぎ、いよいよ稲刈りをする季節。本日は、「はせ掛け」にして乾燥と思っておりましたが、なにぶん忙しい皆さんなので、コンバインを頼むことにしました。

仕事を休んできて学校の田んぼへ。いざ、コンバイン。頼もしい機械の音。楽勝かなと思つたら、しばらくの長雨がたたつたのか稲がしけつて機械の中につまる。その度に、機械を止めて修理。30分もかからないで終わる予定が1時間以上もかかり、しかも手刈りを半分近くしました。生徒

の皆さんにもまた頑張ってくださいました。



餅

健全育成委員会の皆さんに「餅」にするための役員会を開いていただきました。結局、親父だけで準備することは難しいので、委員会で検討していただいたのです。なにしろ家庭の餅つきとは違い「ふるまい餅」400食が目標です。

調理場や道具もそろっていない、都合がつくお母さんも少ないという条件の中では難しいと判断し、コンバインから精米までお世話してくれた月山プラザまつちゃん工房さんに「ふるまい餅」の段取りをお願いしました。相手はプロフェッショナルですから準備万端。当日は楽勝。

ふるまう

餅つき用の餅は強風の中、なんとか蒸すことができました。「千厩祭」当日は、千厩ロータリークラブの皆さんにも参加いただき、一緒に餅つきをしました。これが簡単に見えてなかなか力の要るもので、生徒諸君にも協力をもらい、春に植えた苗がやっと餅になった瞬間でした。



あとは事前に準備してきていた餅と併せて400食。来場した皆さんに、ふるまうことができたのです。多くの協力があって成し遂げることができたと感謝しています。労苦を一緒にした仲間ができたことが大きな喜びです。

関

千高の応援団

我が千厩ロータリークラブは、「千厩祭」で千厩高校PTAと協賛して「餅つき」をしました。当日は当クラブより10名が参加し、慣れない手つきではありましたが、搗いた餅をあんこ餅ときな粉餅にして皆様に振る舞い、長蛇の列が出来た程に好評で、昼過ぎには品切れとなりました。

ロータリーとは「人道的な奉仕を行い、あらゆる職業において高度の道徳的水準を守る事を奨励し、かつ世界的なおける親善と平和の確立に寄与する事をめざした事業及び専門職務に携わる指導者が世界的に結びあつた団体である。」とあります。

我々は地域に根ざした社会奉仕活動を行い、奉仕の機会として知り合いを広め、各自が職業を通じて職業奉仕を実践し、国際理解・親善・平和を推進しております。

また、千厩高校インターアクトクラブの応援団でもあり、33年の間、応援をし続けております。中でもインターアクトクラブ員がブルタブを何万個も集めて車いすに換え、地元の特養老人ホームに車椅子を寄贈した取り組みは、ロータリーアンとして感銘をいたしました。

千厩ロータリークラブ広報担当 佐々木謙一

母

結束力がPTAを支える ～母親委員会の貢献～

母親委員長 柴田 栄子

今年度の母親委員会の活動は9月の「エコクラフトかごバッグとバスケット作り講習会」から始まりました。役員さんの事前講習会、PTAのお母さん達の講習会と総勢28名の方々に参加していただきました。作品はバッグとバスケットのどちらかひとつを選んで作っていただきました。同じ材料なのに作る人の個性が出て、様々なデザインの素敵な作品が出来上がりました。今回もエコクラフト工作にして良かったと思っています。出来上がった作品は千仰祭のPTA展に飾らせていただきました。見に来たお客さんの中には「私も作ってみたい。」と言ってくださる方もいました。

10月には千仰祭のがんばり振り舞いに向けて、「手づくりおやつ講習会」を開催しました。ココア・バナナ・味噌・ニンジン等の4種類のがんばりつきとフルーツポンチを作りまし

た。初めてがんばりつきを作った参加者は「失敗しないでおいしくできたので家でも作って家族に食べさせたい。」と喜んでいました。千仰祭本番は3種類作りましたが、皆様のおかげで48缶のがんばりつきを手早く蒸かして来場者に提供することができました。お客さんにはがんばりつきのレシピも一緒に配り、とても好評でした。

今年度の母親委員会もワイワイ、ガヤガヤとお茶を飲みながら、おしゃべりをしながらの楽しい活動となりました。みなさんもぜひ、活動に参加してみませんか？

生徒の活躍から

“the brightest moment”

「一瞬を輝かせたい」というテーマのもと、10月12日(土)・13日(日)に、千仰祭が開催されました。吹奏楽部や音楽部、箏曲部、演劇部等のステージ発表の他、1学年の地元企業の研究、2学年のクラス企画、3学年の模擬店などを行いました。また、写真部の全国高総文祭出品作や生徒の活動の様子を追った作品展示、数多くの素晴らしい作品を展示した書道部も見ごたえ



がありました。さらに、産業技術科の実演コーナーや手作りベンチの販売、生産技術科の農作物販売、実習作品展示、機織り体験など、



健

挨拶運動に参加して

健全育成委員長 吉田 仁一

10月2日に健全育成委員会の活動として、登校時に挨拶運動が行われ、生徒昇降口だけでなく、今回初めて千厩駅と折壁駅でも運動をしました。

PTA会長・副会長、健全育成委員の方々には、朝



本校ならではのバラエティに富む企画がたくさんあり、来場された方々にも楽しんでいただけたと思います。



早くから参加していただき、千厩高校の生徒だけでなく、他校の生徒にもあいさつをして頂きました。

社会人としてのマナーである挨拶を、家庭や学校だけでなく、それぞれの地域でも明るく行なってほしいと思います。

今回行った駅での挨拶運動を来年1月には、大東高校PTAと合同で行う予定になっております。

各種大会結果報告

〈運動部〉

〔陸上競技〕

●岩手県陸上競技選手権大会

2部男子400mハードル 三浦 龍(2E) 6位

2部男子3000m障害 平栗 悠揮(3A) 2位

2部女子砲丸投げ 三浦 聖美(2E) 8位

●第64回岩手県高等学校新人大会

女子やり投げ 三浦 聖美(2E) 3位 東北大会出場

男子 200m 高橋 夢羽(1A) 準決勝進出

800m 千葉 誠治(2A) 準決勝進出

400mハードル 三浦 龍(2E) 準決勝進出

4×100リレー 準決勝進出

4×400リレー 準決勝進出

●東北高校新人大会

女子 やり投げ 三浦 聖美(2E) 第17位

●国体選手権大会

8・9部共通 女子やり投げ 三浦 聖美(2E) 10位

女子4×100リレー 14位

3部 男子200m 高橋 夢羽(1A) 準決勝進出

9部 女子200m 菅原 愛佳(1A) 準決勝進出

〔バスケットボール〕

●第34回岩手県高等学校選抜大会

女子 1回戦 千厩 40-70 山田

●新人大会県南地区予選

男子 千厩 30-72 一関第一

千厩 60-64 一関第二

女子 千厩 36-37 大 東

千厩 54-89 一関第二

〔バレーボール〕

●選抜大会県南地区予選

男子 1位通過

女子 3チームが勝利となり得失点差により県大会出場ならず

●第66回全日本高等学校選手権大会県予選

男子 1回戦 千厩 2-11 大船渡

2回戦 千厩 2-11 久慈東

3回戦 千厩 0-2 一関修紅 ベスト8

優秀選手賞 伊藤 翔(2E)

〔卓球〕

●第37回岩手県南オープン選手権大会

男子 団体 1回戦敗退

女子 団体 第2位

●新人戦県南地区予選

団体 男子1回戦敗退、女子第2位



●第59回岩手県高等学校新人大会

男子 団体 1回戦 千厩 0-3 久慈

女子 団体 1回戦 千厩 3-2 久慈

2回戦 千厩 0-3 花巻南

〔ソフトテニス〕

●第58回岩手県高等学校新人大会

男子 団体 1回戦 千厩 1-2 北上翔南

個人 千葉拓人(1B)・小松健人(1D)組

1回戦敗退

女子 団体 千厩 3-0 一 戸

千厩 2-1 盛岡第三

千厩 0-2 水 沢 ベスト16

(インドア選手権出場権獲得)

個人 千葉 桃花(2D)・佐々木夢叶(1B)

2回戦敗退

佐藤 結菜(2A)・三浦 春奈(1A)

2回戦敗退

〔サッカー〕

●リーグアンダー18大会3部リーグ

県南地区

所属8チーム中5位

●フットサルリーグ千厩大会

出場8チーム中5位

〔バドミントン〕

●新人大会県南地区予選

男子 団体 第3位

ダブルス 千葉 雅実(2E)・伊藤 忍(1F)

第3位

シングルス 湯村 真弥(2F) 第4位

女子 団体 第2位

ダブルス 石川 久愛(1D)・熊谷ほなみ(1C)

第3位

佐々木万智子(2E)・藤野 朋佳(1D)

第5位

シングルス 熊谷ほなみ(1C) 第5位

〔ボクシング〕

●第58回岩手県高等学校新人大会

1部 ウェルター級 佐藤 恒(2D) 決勝TKO負け

2部 ライトウェルター級 熊谷 竜一 TKO負け

ミドル級 小山 大輔 判定負け

ウェルター級 菅原 元輝 TKO勝ち

第1位 東北大会出場



2回戦 千厩 5-0 宮 古

3回戦 千厩 11-4 福 岡(6回コールド)

準決勝 千厩 2-1 盛岡市立

決勝 千厩 2-3×花巻東8回タイブレーク

準優勝 東北大会・東日本大会出場 決定

●第8回東北高等学校選抜大会

1回戦 千厩 2-3 福島東稜

敗者戦 千厩 1-2 東北生活文化

●第19回岩手県高等学校新人選抜大会

準決勝 千厩 8-0 花巻南(5回コールド)

準決勝 千厩 5-6 花北青雲 第3位

●第6回高校女子ソフトボール大会県大会

1回戦 千厩 2-1 福 岡

2回戦 千厩 12-4 花北青雲

準決勝 千厩 10-0 盛岡農業

決勝 千厩 7-0 大 東(5回コールド) 優勝

〔剣道〕

●第56回岩手県高等学校新人大会

男子 団体 予選リーグ敗退

女子 団体 予選リーグ敗退

〔弓道〕

●第43回東北高等学校弓道選手権大会

女子個人 熊谷 天絵(3E)

予選 8位5中 通過 準決勝進出

準決勝 4位3中 決勝進出(9名通過)

決勝 射詰め 一射目×

6位決定選近畿射 8位相当

●第32回全国選抜大会岩手県予選会

男子 団体 出場

女子 団体 準決勝進出 ベスト8

●新人大会県南地区予選

男子 団体 40射10中 第6位

女子 団体 40射21中 第1位

個人 畠山 好(2A) 12射9中 第2位

小山 怜華(2E) 12射7中 第3位

佐藤 穂波(1D) 12射6中 第7位

県大会出場

〔ワンダーフォーゲル〕

●第49回岩手県高等学校新人大会

学校対抗(A隊) 菊地和也(2C) 佐藤 岳(1B) 8位

加藤麗央(1F) 石川直人(2D) 8位

チーム対抗(B隊) 千葉裕弥(2F) 畑山力哉(1F) 11位

加藤一輝(2C) 遠藤 優(1C) 11位

●第95回全国高等学校選手権岩手手大会

2回戦 千厩 9-2 住 田(8回コールド)

3回戦 千厩 0-9 一関学院(7回コールド)

●第66回秋季東北地区高等学校岩手県大会地区予選

1回戦 千厩 1-11 一関学院(5回コールド)

敗者復活2回戦 千厩 0-7 一関第一(8回コールド)

〔柔道〕

●岩手県高等学校新人大会

男子 団体 千厩 1-4 不来方

個人 60kg級 青柳 健太(2F) 1回戦敗退

81kg級 佐藤 佑(2F) 1回戦敗退

90kg級 菅原 達也(2F) 2回戦敗退

90kg級 小野寺 保(1F) 1回戦敗退

90kg級 千葉 巧(1F) 1回戦敗退

48kg級 立身 美穂(1C) 1回戦敗退

〔書道部〕

●第18回全日本高校・大学生書道展

準優秀賞作品 千葉 明美(3B)

●第10回記念安芸全国書展高校生大会

入選 千葉 明美(3B)

●第9回岩手日報高校書展

秀逸賞 千葉 明美(3B)

入選 皆川 璃乃(3D) 菅原 綾(2E)

畠山 未歩(2E)

●第47回曹洞宗青少年書道展

大本山總持寺監院賞 千葉 明美(3B)

●第48回高野山読書大会

特別賞高野山総長賞 千葉 明美(3B)

和歌山県高野山 総本山金剛峯寺にて展示

●第2回佐久全国臨書展

書道連盟賞 千葉 明美(3B)

●第31回マイヤ書道展

特選 千葉 明美(3B)

●第65回小野道風公奉賛全国書道展覧会

秋萩賞 千葉 明美(3B)

●第22回国際高校生選抜書展

入選 千葉 明美(3B)

●第6回全国公募書展「放哉を書け」

入選 千葉 明美(3B)

●第36回岩手県高等学校総合文化祭

1種 全紙 漢字・仮名の部

入選 上野 華奈(2E) 畠山 未歩(2E)

千葉 明美(3B) 藤野 夢子(3B)

皆川 璃乃(3D)

第1種 全紙 漢字仮名交じりの部

入選 皆川 璃乃(3D)

第2種 半切 漢字・仮名の部

秀作賞 辻山 愛莉(3C) 菊池 亮(3D)
 入選 岩淵 美久(1E) 藤野明日香(1E)
 千葉 天斗(3C) 神崎 弘樹(3C)
 菅原 匠真(3C) 佐々木美幸(3C)
 小野寺 翠(3C) 小野寺祐希(3D)
 斉藤 大樹(3D) 熊谷 春菜(3D)
 清水 隆也(3D) 田島 麻由(3D)

●第62回全日本学生書道展
 人民日報社賞 千葉 明美(3B)

美術

●第36回岩手県高等学校総合文化祭芸術部門
 入選 熊谷 美芹(3E)「水辺にて」
 小岩 志保(2E)「悲しみ」
 吉田友貴乃(2E)「思い出に溺れる」

音楽

●第65回全日本合唱コンクール岩手県大会
 出場

吹奏楽

●全日本吹奏楽コンクール県南地区大会
金賞 1位通過
 ●全日本吹奏楽コンクール岩手県大会
 銀賞

演劇

●第39回岩手県高等学校演劇発表会県南地区予選
 優良賞

写真

●第37回岩手県全国高等学校総合文化祭2013長崎しおがせ総文祭
 佐藤可奈子(2E)
 千葉 翠(2E)参加

夏季写真コンテスト

佳作 千葉 翠(2E)

●第36回岩手県高等学校総合文化祭写真部門

最優秀賞 二瓶 鈴菜(1F)
優秀賞 佐藤可奈子(2E)
優良賞 菅原 七海(1E) 佐藤可奈子(2E)

●千厩川水辺環境づくり事業部会主催「川」の写真・絵画コンクール

最優秀賞 千葉 翠(2E)
佳作 佐藤可奈子(2E)
特別賞 菅原 七海(1E) 二瓶 鈴菜(1F)



〔筆曲〕
 ●第36回岩手県高等学校総合文化祭日本音楽部門
優秀賞
 第38回全国高総文祭いばらき総文2014出場決定

〔囲碁将棋〕

●第22回岩手県高等学校囲碁新人大会
 団体戦A級
 佐藤 康平(2B)
 千葉 博樹(2A)

〔器楽〕

●第36回高等学校総合文化祭第13回軽音楽発表会
 優良賞
〔コンピュータ〕
 ●第7回日本工業大学マイクロロボットコンテスト高校生大会
 村上 翔太(3F) **デザイン賞**

〔ロボット〕

●第20回全国高等学校ロボット競技岩手県大会
 伊勢 昂幸 岩淵 靖幸、及川 拓馬、小山 智明
 小山 大夢、菅野 康成、佐藤 葵、佐藤 伸悟
 千葉 修作、村上 翔太(3F)
第3位 全国大会出場

〔生産技術科〕

●平成25年度岩手県学校農業クラブ連盟大会
 意見発表
 区分食料・生産 菅原 綾(2E) **優秀賞**
 区分文化・生活 及川 亜矢(3E) **優秀賞**

〔産業技術科〕

●ETロボコン2013東北地区大会
 青柳健太、上野 千央、佐藤 佑、畠山 知希(2F)
若手奨励賞

技能検定実技試験優秀者表彰

電子機器組立作業 小野 裕貴、畠山 知希(2F) **金賞**
 電子機器組立作業 青柳 健太、佐藤 佑(2F) **銀賞**
 高校生ものづくりコンテスト2013岩手県大会
 電子回路組立部門 佐藤 大貴(2F) **第3位**
 小野 裕貴(2F) **第5位**



人民日報社賞を受賞して



書道部 千葉明美(3B)
 今年の八月に、読売新聞社と全日本学生書道連盟共同主催の第六十二回全日本学生書道展覧会において、人民日報社賞を受賞いたしました。

私が出品したのは、東晋時代の書聖王羲之の『蘭亭序』の臨書で、全紙に行書体で十六行の細字作品でした。表具され、東京都美術館に展示されました。歴史ある書道展で上位入賞し、しかも特別賞の人民日報社賞を受賞することができて大変嬉しく思います。読売新聞の中央版に、学校・学年・氏名が掲載されました。この展覧会は、高校生までの出品規定になっており、高校生活最後に有終の美を飾ることができました。

三年ぶりの一勝



硬式野球部 鈴木大斗(3B)
 今年は、千厩高校野球部大会での一勝を勝ち取りました。しかし、その道りは決して楽なものではありませんでした。今年の春から、指導して下さる先生方が入れ替わりしました。大変なことも多かったですが、キャプテンを中心に三年生が団結し、チーム全体の結束力が強まりました。

また、遅くまで自主練習をする生徒の人数も、大会が近づくにつれて多くなっていきました。そして迎えた住田高校戦では先制を許してしまいました。逆転に成功し、結果としてコールド勝ちを収めることができました。この試合は、チームの成長が全てに現れた試合だったと思います。先制されても諦めない気持ち、一球に対する集中力、勝利に対する執念など、全てがこの試合に発揮され、三年ぶりの勝利につながったと思います。

三年生になって忙しい中、受験勉強の合間に練習に励み、数多くの全国書道展に出品を続けてきました。技術を磨くため、いろいろな課題に取り組み、臨書を続けていますが、その中でも特に印象に残る作品と指導して下さった先生方に深く感謝いたします。

私は高校野球に携わることができて、本当によかったと思っています。練習はきつかったけれど、仲間と一緒に乗り越えたことは私の財産になりました。後輩も大変なことが多いと思いますが、くじけずに頑張ってほしいと思います。そして、一つでも多く勝ち進んでほしいと思います。生徒や先生方、卒業生、そして地域の方々が野球部の活躍を待ち望んでいることを忘れずに練習に励んでほしいと思います。



丑暮春之初會
 地有崇山峻嶺
 坐其次雖無絲竹
 清惠風和暢仰
 娛信可樂也夫
 所託放浪形骸
 然自足不知老

「PTA研修旅行」 11月17日(日)

会津を満喫した研修旅行

小野 千恵

私はPTA会員6年目となり、今まで参加できなかった千厩高校PTA研修旅行に、今年はPTA最後の年なので是非参加したいと思い初めて参加しました。行き先は大好きな大河ドラマ「八重のさくら」の舞台、会津若松と鶴ヶ

城での研修でとても楽しみに参加しました。

ひんやりした朝もやの中、晴天となることを期待しながら出発しました。車中は、参加者と同世代のベテランバスガイドさんの楽しいトークや案内で、長旅と感じさせない和気あいあいとした雰囲気での目的地へと向かいました。

会津に到着し、まずは昼食をいただき、会津うるし美術館を見学。そのあとバスで喜多方駅に移動し、磐越西線の一日一往復だけの蒸気機関車「SLばんえつ物語号」に乗り、初め



津若松駅へ。初めて蒸気機関車に乗り、汽笛の音を聞き、黒煙を吐きながら走る車窓からの景色を眺めているとまるで昔にタイムスリップしたような気分になりました。鶴ヶ城では、現地のボランティア



ガイドさんに城の周辺建物を案内して頂き、本丸天守閣には江戸時代から明治時代の資料などが展示されており、「八重のさくら」の時代を思いながら上の階へと登りました。最上階展望フロアからの会津の風景は好天に恵まれて最高の眺めでした。

見学を終えお土産を買い、帰路へとバスに乗車。外は日暮れが早く、満月の夜の高速道走りながら、車中ではビンゴゲームで大いに盛り上がり楽しい研修旅行が終わりました。いい思い出ができました。これまでのPTA活動では皆様大変世話になりました。ありがとうございました。

最後も満喫

星 美智子

私にとって6回目であり、最後となった千厩高校PTA研修旅行。今年は、夫の勤務地だった合津若松・喜多方方面ということで、夫婦で参加し、懐かしく歩いて来ました。当日は天気に恵まれ、遠く

後まで楽しく思い出に残る旅行となりました。研修委員の皆さん、お陰様で毎年楽しく参加させていただきました。ありがとうございました。

今年の旅行は、バスでの移動だけでなく、SLばんえつ物語号(SL C57 180)で、喜多方から合津若松まで移動しました。SL乗車は、今回の旅行の目玉でもありました。走る蒸気機関車を見るのも、乗るのも初めてだったので、私も『にわか鉄子』となり、カメラを構えてSLの到着を待ったり、車内や車掌さんを撮ったりと、子供のようにはしゃいでしまいました。帰りのバスでは、ビンゴ大会で盛り上がり、最





全国産業教育フェアを視察して

校長 入 駒 智

保護者の皆様には、日頃から本校の教育活動に対してご理解とご協力をいただきまして厚くお礼を申し上げます。

さて、一ヶ月程前の11月に第23回全国産業教育フェア愛知大会が開催され、本校からは産業技術科の生徒達がロボット競技大会に参加しましたので、その様子も含めて報告いたします。

このフェアは農業、工業、商業、水産、家庭、看護、情報、福祉の8つの分野で専門的な教育を行う高校等で学ぶ生徒たちが全国から集い、日頃の学習・研究の成果を発表し、広く地域社会や一般の方々へ専門高校の教育内容の素晴らしさをアピールするとともに、産業教育に対する理解を深めていただくことを目的に開催しているものです。「ものづくり」といえば愛知と言われるほど、製造業が盛んなこの地で今年の大大会が開催されたこともあり、大いに盛り上がった大会となりました。

先ずは本校が岩手県代表として、県内の他の3校とともに出場する全国高等学校ロボット競技大会の会場へ足を運びました。会場は愛知県体育館で、日本三名城のひとつに数えられている名古屋城のすぐそばにある場所でした。全国各地の予選を勝ち抜いてきた143チームによって争われたこの競技は予想どおりのハイレベルなものでした。各チームが長い時間をかけて創り上げたロボットを駆使して、スタートしてからゴールまで、わずか3分の限られた時間内で、設定されたコースをクリアするという競技会ですが、まさに、ものづくりのアイデア、創造性を求められるものです。残念ながら本校は健闘むなしく予選敗退という結果に終わりましたが、全国のレベル

を身近なところで体験できたことは大きな財産になったことと思います。

続いて今大会のメイン会場である愛知県産業労働センターへ向かいました。ここは冒頭で述べた8つの分野の展示発表の会場であり、全国の高校から出展されたアイデア満載の研究作品、商品、各種発表、体験コーナーで熱気に溢れていました。いくつかの高校の生徒に展示品について質問してみました。こちらが聞いていけないような難易度の高い専門的な話をしてくれました。

この2つの会場を見学して改めて感じたことは、全国の専門の学科で学ぶ生徒たちがそれぞれの分野でのものづくりや発表において、そして、競技会等において、生き生きと躍動する姿の素晴らしさでした。多くの人々にこの学習成果を見てほしいと感じた大会でした。我が国の「ものづくり産業」は、貿易立国日本を支える基幹産業です。これからの日本を支えるべき若手技術者の育成という意味でもこのような大会の重要性を改めて認識いたしました。

来年度の全国産業フェアの開催は宮城県です。しかし、この大会そのものが一般の方々にとだけ知られているのかは疑問のあるところですね。ぜひPTAの皆様にも、そして、生徒諸君にも見学してほしいと思います。そして、日本の「ものづくり産業」の素晴らしさを確かめてください。



フェアでのメカク力出品物



希望の春に向けて

PTA会長 千葉 弘之

会員の皆様には、年もせまり何かとご繁忙のことと存じます。日頃より本会の運営につきましても、何かと温かいご協力をいただきまして誠にありがとうございます。

さて、お陰をもちまして今年度の事業も順調に運んでおります。新たな試みとしては、健全育成委員会が中心となり「各駅でも実施した挨拶運動」です。また、大東高校PTAと連携した挨拶運動はこれから行う予定になっております。挨拶は生きる上での基本です。特に大東高校は挨拶が素晴らしいと言われております。良いことは互いに影響できるような関係を持ちたいと思っております。

今回の特集になっている千仰祭での「餅ふるまい」は、日頃活躍してくれている母親委員会の皆さんにだけご苦労かけるのではなく、お父さん達も何かやっけて祭りを盛り上げようということを取り組みました。来場者や生徒諸君の喜びにつながるように今後とも継続したいと思っております。

多数のご参加をいただいたPTA研修旅行を含め、各種行事が一段落した時期に三年生の生徒を持つご家庭では進路について決定された方、これからの方とお忙しい時期であると思います。寒い日が続きそうです。どうぞ体調にご留意され「希望の春」を迎えていただきたいと思います。

【高P連報告】

《全国高P連》

夢から志へたくましく生きるチカラを育むために、今、私たちができることをテーマに、第63回全国高P連の大会が山口県で8月22日に開催され、本校からは吉田副会長・校長・事務局の3名が参加しました。

当日は、分科会ごとの各会場に集まり、開会式・基調講演・記念講演・閉会式がライブ中継され、一日での開催となりました。今回のテーマとの関連で、明治維新前夜、松下村塾で教えていた吉田松陰の「志」教育の紹介があり、山口ならではの維新に関するアトラクションなどもありました。

なお、2015年の8月に岩手県でこの全国大会開催が決定しており、テーマは「未来からの風をつかめ！新時代を担う君たちと共に」と決まり、現在はポスター・シンボルマークの募集を行っています。

《県高P連県南地区協議会》

9月30日にベリノホテル一関を会場に県南地区協議会(事務局・一関二高)の研修会が開催され、会長以下役員が6名、校長・事務局2名、計8名で参加しました。情報交換会では、PTA総会・研修旅行・各種委員会等の各校の現状と課題が報告され、参考になることが多々ありました。特に、「PTA会報」については、研修会の開催を通してより見やすく、多くの保護者に読んでもらえるものを作成しようとしている学校もあり大変刺激を受けました。今回の会報はその一端を表すべく広報委員の方々が工夫を凝らしたのとなつていきたいと思います。ぜひ読後感想をお寄せ下さるとありがたいです。



産業技術科

「産業技術科の学習内容」

産業技術科長 柴田 隆 宏

平成元年に産業技術科の1期生が卒業し、創立以来28年が経過しました。創立当初は、電子情報系の学科としてスタートした本科でしたが、時代の流れや企業ニーズに対応するために、平成21年度入学生より電気と機械を中心に工業の学習を行う教育課程となっています。

産業技術科がどのような学習を行っているか紹介します。

産業技術科では普通教科以外に、工業の専門教科で電気系科目と機械系科目を学んでいます。教室で行う座学と実技・実験を行う学習があります。総時間数の約半分は実技・実験を行う学習になっています。

座学科目

- 「電気基礎」(1:2年、週2時間)
- 「電気の回路や直流・交流など」
- 「電力技術」(2:3年、週2時間)
- 「発電・送電・配電などの電力施設・設備など」
- 「電子情報技術」(3年、週4時間)
- 「電子回路・コンピュータやプログラムの基礎・応用」
- 「機械工作」(1:2年、週2時間)
- 「ものの作り方や機械材料など」
- 「機械設計」(3年、週2時間)
- 「力学・材料力学・機構学など」
- 「情報技術基礎」(1年、週2時間)
- 「コンピュータやプログラムの基礎」
- 「製図」(2年、週2時間)
- 「製図の基礎及びCADによる設計製図の仕方」
- 「実技・実験科目」(3時間続きの授業)
- 「工業技術基礎」(1年、週3時間)
- 「4班に分かれ4つのテーマについて、基礎的な知識・技術を学びます。」
- ①電気計測―直列・並列回路、分流器・倍率器

など基本的な電気計測の仕方

②回路製作―テスタ製作を通して、抵抗の読み方、はんだ作業の仕方、テスタの使い方

③機械加工―手作り文鎖の製作を通して、弓のこ・やすりの使い方、ねじの作り方

④電気工事―電気工事の基本作業を通して、材料や工具の使い方
「実習」(2:3年、週3時間)

4班に分かれ4つのテーマについて、基礎的な知識・技術及び専門的な知識・技術を学びます。2年生

①電気電子計測―交流波形、ダイオード・トランジスタの特性

②PIC制御―自動制御の基本

③機械加工―旋盤の基本操作

④電気工事―電気工事の応用

①電子計測―電子回路の基礎及び応用
②シーケンス制御―シーケンス制御による自動制御の仕方

③機械加工―アーク溶接の基本操作

④ソフトウェア―各自テーマを設定し調べてまとめ、発表する
「課題研究」(3年、週3時間)

グループごとにテーマを設定し、実験や製作を通して知識や技術を身につける。

以上、産業技術科での学習について紹介しました。産業技術科では、生徒に対して「自分で課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決する能力」が身につくように指導しています。

産業技術科生徒

101名、職員6名、千厩高校の保護者の皆様及び職員の方々の協力を得て頑張っています。今後も地域に根ざした学科として活動していきますので、産業技術科をよろしくお願



シーケンス制御実習

【平成二十五年度】

三学年進路状況について

進路指導課長 武田 宏 行

【就職】

今年度は、震災から2年が経過し、2年間続けて配慮して頂いた「被災地求人」のない状況のため、厳しい就職活動が予想されました。実際は、被災地求人は頂けなかったものの、幾分景気が上昇してきたため、求人数が増加しました。しかし、増加したのは、建設土木などの復興需要に係わる業種がほとんどであり、職種が偏っている状況に変わりありませんでした。特に管内は、製造・建設土木・介護・縫製がほとんどを占めており、事務・販売・サービスの求人はほとんどありません。企業が求める人材は、今までと同様にコミュニケーション能力を重視しています。あいさつはもちろんのこと、大人との会話が自然にできることを求められています。普段の学校、家庭において気をつけて生活していく必要があります。さらに基礎学力を重視する傾向にあります。日々の学校生活を通して、「文武両道」を真に実践していく必要性を再認識しました。

現3学年はこの状況下においても、統一選考日(9/16)の就職試験において、内定率89.7%というすばらしい結果を収めました。主な理由を2点挙げます。1点目は、昨年に引き続き、2学年の冬季休業前から就職に関する具体的な指導を開始したこと。エントリーシートを作成したり、3月に面接練習も開始したりと早期に就職に対する意識を高めました。2点目は、夏季休業中の取り組みです。休業中にもかかわらず、集団面接指導、適性検査練習、SPI練習、履歴書作成などに熱心に取り組ましました。担任を中心に、生徒も先生方も休みなく頑張りました。おかげで11月21日に民間就職希望者87名全員が内定を頂き、内定率100%となりました。

進学はもちろん、就職希望生徒についても、1年次から真剣に考え準備していくことが大事です。

【進学】

来年1月18日(19日)に行われるセンター試験に受験した生徒は68名で、医療系専門学校への進学を目指す生徒も含めて、毎日熱心に勉学に励んでいます。また、3年生は保護者の方々の協力を得ながら、朝課外・土曜日課外・平常課外に真剣に取り組んでいます。1:2年生は11月後半から平常課外に取り組んでいます。秋冬は特に学習に集中して取り組み、実力を身につけて欲しい時期です。

今年度の推薦・AO入試受験者は国公立大13名、私立4年制大5名、短大7名、医療系専門学校3名、専門学校等12名です。夏季休業前から志望理由書の作成に入り、新聞や書籍などで情報を収集し、何度も書き直しをしながら書類を作成し、出願をしました。現在は、教職員全員体制で、面接・小論文に取り組んでいます。

進学する生徒については、入試を突破するために学力を身につける必要がありますが、それ以上に入学後、それぞれの進学先で学ぶために通用する程度の学力を身につけることが大事です。一般入試で受験する場合も、推薦で合格が決まった生徒も、卒業までしっかりと勉強に励むことを期待します。

編集後記

秋晴れの下、盛大に行われた千厩祭。PTAでは例年母親委員会の皆さんが活躍しておりますが、今年は親父も何かすべと立ち上がり、田植えから当日の餅つきまで生徒たちと共に汗を流した親父たち。おいしいお餅をありがとございました。小・中学校に比べるとPTA活動は減っていると思いますが、高校だってPTAの活躍の場があります。来年は是非参加して喜びを分かち合いたいです。

本号より表紙のレイアウトを変えてみましたがいかがでしょうか。掲載してほしい記事がありましたら調査広報委員または先生方にひと声お願いします。(佐藤 優子)